

- Bot., Paris, 3: 25-230.
- 8) ————— (1966) Sur l'identification du sporophyte du *Spongomorpha lanosa* (ROTH) KÜTZ. (Acrosiphonacées). C. R. Acad. Sci., Paris., 262: 626-629.
 - 9) KORNMAN, P. (1961) Über *Spongomorpha lanosa* und ihre Sporophytenformen. Helgol. Wiss. Meeresunters., 7: 195-205.
 - 10) ————— (1964) Zur Biologie von *Spongomorpha aeruginosa* (LINNAEUS) VAN DEN HOEK. Ibid., 11: 200-208.
 - 11) ————— (1970) Phylogenetische Beziehungen in der Grünalgegattung *Acrosiphonia*. Ibid., 21: 292-304.
 - 12) ————— (1972) Les sporophytes vivant en endophyte de quelques Acrosiphoniacées et leurs rapports biologiques et taxonomiques. Soc. Bot. Fr. Mémoires, 75-86.
 - 13) NAGAI, M. (1940) Marine algae of Kurile Islands I. Fac. Agric. Hokkaido Imp. Univ., 46: 1-137.
 - 14) TOKIDA, J. (1954) The marine algae of southern Saghalien. Mem. Fac. Fish. Hokkaido Univ., 4: 1-264.
 - 15) WILLE, E. (1900) Dei Zellkerne bei *Acrosiphonia* (J. AG.) KJELLMAN. Bot. Zentralb., 81: 238-239.

Bruno SCHUSSNIG 博士の逝去

数々の緑藻類の細胞学的研究報告，特に Handbuch der Protophytenkunde Band, I & II の大著で世界の藻類学界に貢献された著名な藻類細胞学者 Em. Univ. Professor Dr. Phil. habil. Bruno SCHUSSNIG は 1976年 3月 3日に逝去された。1892年 1月 7日 生れであるので，享年84才であった。多くの細胞学的研究論文の別刷及びその他の印刷物は奥様の Eva-Maria SCHUSSNIG geb Golber, 69 Jena, Schillbachstrasse 49 が保管されておられる由。

(猪野俊平)

第9回国際海藻学会議の日程等について

1977年8月にアメリカ、カリフォルニア州サンタバーバラで第9回国際海藻学会議 IXth International Seaweed Symposium が開催されます。私は科学技術庁在外研究員としてカリフォルニア大学サンタバーバラに滞在しておりました際に、University of California, Santa Barbara Campus representative として、さる8月に同地でアメリカ藻類学会を中心として行われた Meeting plan の検討会に参加する機会を持ちましたので、以下に予定されている会議の概略について報告をいたします。第9回国際海藻学会議は ISS (International Seaweed Symposium), PSA (Phycological Society of America) 及び IPS (International Phycological Society) の Coordinated program により8月20日より27日にかけて行われます。講演や研究発表などのほかに、いくつかの歓迎パーティ、8月18日よりサンフランシスコを出発し、パークレイモントレイ半島—ホプキンス臨海研究所—カーメルミッション等を経て20日午後に会議場に到着するプレシンポジウムエクスカージョン及び会議終了後に出発する(1)デズニーランド—ロスアンゼルス(3日間)、(2)カタリナ島、(3)チャンネル諸島潜水旅行(2泊)のポストシンポジウムエクスカージョンなども予定されています。

なお、Special symposia のテーマには次の3つが用意されています。

1) *Macrocystis*, 2) Marine algal biogeography, 3) Marine algae in pharmaceutical science.

また Special lecture の演者と題名には次が予定されています。

1) J. RYTHER: Seaweed cultivation and sewage treatment. 2) M. DOTY: *Eucheuma* farming in the Pacific. 3) C.D. TSENG: Seaweed Cultivation in China. 4) A. JENSEN: Utilization of marine plants.

同時通訳については、費用その他の事情から、日本語⇄英語のみ実施される予定ですが、いつ、どの会場で行われるかは今後発表者名及び参加者が出揃ったところで決めるとのことです。日本語⇄英語のみの同時通訳が取り上げられた理由は、日本が海藻の基礎的研究及び応用研究ともに進んでいること、及び First circular に対する返書の集計によると日本からの参加者が多数であると期待される等です。

(北海道区水産研究所 三本菅善昭)

第9回国際海藻学会議の参加費は\$80 (Proceedings 代も含む。学生は半額)で、宿泊については開催場所のカリフォルニア大学・サンタバーバラ校の宿舎が開放され、食事代込み1週間約\$120とのことです。なお渡航費用は東京サンフランシスコ(またはロスアンゼルス)間エコノミークラスの現行運賃で1人往復309,200円ですが、団体扱いですと次のように割引運賃となります。10人以上, 228,300円; 30人以上, 195,000円。団体扱いを希望する方はその旨を日本藻類学会事務局までお知らせ下さい。第1回サーキュラーを受取っていない方で、参加希望者がありましたら、日本藻類学会事務局に申込んで下さい。申込用紙を送ります。

(日本藻類学会事務局)